

事業所における自己評価結果＜放課後等デイサービス＞

公表：令和4年4月15日（金）

特定非営利活動法人フェアリー 児童デイサービス えるむ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースに適切である	○			
	② 職員の配置数は適切である	○			
	③ 生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、情報伝達等への配慮が適切になされている	○		個室がある	
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦ 保護者向け評価表の結果を踏まえて事業所としての自己評価を行い、その結果による支援の評価及び改善の内容を、通信やホームページ等で公開している	○			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		法人で外部評価を行っていない
	⑨ 職員の資質の向上を行う為に研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑫ 放課後等デイサービス計画には支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	⑰	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	⑱	支援終了後に職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し支援の検証・改善につなげている	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した職員が参画している	○			
	㉒	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っている	○			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者を通して情報共有を行っている	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している		○		卒業する前に当法人の他事業所へ移行する為、障害福祉サービス事業所と連携を取る機会がない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	㉖	児童センター等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域の公園などで障がいのない子どもとの交流がある	
	㉗	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		オンラインで参加している	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に家族支援（ペアレント・トレーニング等）を行っている	○			
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、利用者負担金等について丁寧な説明を行っている	○			
	㉑	放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ている	○			
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			

	③③	保護者向け学習会により保護者同士の連携が支援されている	○		保護者向け学習会や保護者同士が話し合える茶話会等を行っている	
	③④	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに周知・説明をし、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑤	定期的に通信やホームページ等で活動内容や行事予定、連絡体制などの情報を発信している	○			
	③⑥	個人情報の取り扱いに十分注意している	○			
	③⑦	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしている	○			
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		自閉症をはじめとした発達障害啓発の為に事業所をブルーにライトアップして『点灯を見守る集い』を行う、地域の保護者や支援者を対象とした講演会等を積極的に取り組んでいる	
	非常時等の対応	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し保護者に周知・説明されるとともに、発生を想定した訓練が実施されている	○		契約時に各マニュアルの説明を行った上、通信に掲載するなど周知している
④⑩		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
④⑪		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこのどもの状況を確認している	○			
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
④⑭		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
④⑮		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス評価表＜保護者の皆様へのアンケート＞

集計期間：令和4年4月6日（水）～ 令和4年4月15日（金）

配布：9枚 回収：7枚 回収率：78%

チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見など
環境・体制整備	① 子どもの活動などのスペースが十分に確保されているか	6	1		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	7			
	③ 事業所の設備などはスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされているか	6	1		
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画（※1）が作成されているか	7			
	⑤ 活動プログラム（※2）が固定化しないよう工夫されているか	7			
	⑥ 児童センター等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6		
保護者への説明など	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7			
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	7			
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1		
	⑩ 保護者向け学習会により保護者同士の連携が支援されているか	4	3		
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに周知・説明をし、迅速かつ適切に対応しているか	7			
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	7			
	⑬ 定期的に通信やホームページ等で活動内容や行事予定、連絡体制などの情報を発信しているか	7			
非常時の対応	⑭ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	1		
	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し保護者に周知・説明されているか	5	2		
満足度	⑯ 非常災害の発生に備え定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1		
	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	7			
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	7			

(注釈)

※1 … 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させる為の課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画の事です。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※2 … 事業所の日々の支援の中で一定の目的をもって行われる個々の活動の事です。子どもの障がい特性や課題、平日・休日・長期休暇に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

(保護者の皆様へ)

この放課後等デイサービス評価表は、放課後等児童デイサービス事業所を利用しているお子様の保護者の方に、事業所の評価をして頂くものです。「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入して頂くとともに「ご意見など」についてもご記入下さいますようお願い致します。